					施策評	呼価シート					
He A	de date		到田老士	- 一 カカル・	ナービスの取組と式		体系番号	号 0101010204			
МЗ	衣守	台 称	利用有本	世の神化り	一ころの収配とう		主管課	保健福祉	Lサービスセ	ンター	
現物	伏と i	禁塞 課題 子来像 (大基本的 方)	介護が必要 度やり護者 高い で が が が が が を は た が を が き る 状 が が が り た が り た が り た が り た り た り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、	スを自主的に 事業所のケア 齢者のみ世帯 こある。適切な 要とされている 福祉サービス に位の所護・福 ・や、居宅介護・	自分らしい生活」を送る 選択ができることや、3 マネジャー(介護支援 い増加に伴い、認知は 認知症対応や専門的 る。 の情報を正しく伝える を選サービスの利用か を支援事業所のケアマ がなサービスの利用に	をえる側がどのよりでは、 専門員)やサービ を高齢者が認知が はなケアを提供する とともに、介護が とともに、介護が ながないでする。	うに支援 「ス高事業 に で、力 で、メントカ	していくか? 事業介護を増やする で的ななも の向し上を図	が大きな課題とな 足も懸念されてい いでは、また、地域を 自宅や地域で生 り組みを進める。 るとともに、民間	いている。まいる。さらに、 い介護リも増え 活着型サービス 活が継続できまた、保健福 はのよう。	た。 に 記 に 知 き を と せ も し に の も し も し に の も し に の も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も も も も も も も も も も も も も
			指標名称		指	i標の説明(単位)			計画策定時	2022年度 2027年度	
1	① サービス提供事業者・介護支援専門 員連絡会議開催数				連絡会開催数(回)		6	12			
2				施設数	介護サービス相談員	介護サービス相談員が訪問する施設の数(施設)					
3											
	名和	5 認知症	の方を地域で	で支える支援の				主管課	保健福祉:	ナービスセンタ	7 —
施策の柱	1	まちづくりの	か目標指標 計者家族の 数		の説明(単位) 齢者を抱える家族の 数(回/年)	計画策定時	2022年 2027年	F度目標値 F度目標値 16	柱を構成する主 1 認知症高齢者 2 認知症総合:	家族相談事業	医
1	9	位置検索 数	装置利用者	徘徊時に位 の利用者数	■を特定できる装置 (人)	0		2	3 徘徊高齢者家族 4 5	サービス事業	実施
	基	本政策間連	携					6			
	名 和		サポーターの	養成と活用の				主管課	保健福祉士	ナービスセンタ	-
	計組	単域に			かるための認知症サポッ活動にも関われるため			ポーターが	地域の大きな力	となれるよう、	認知
		まちづくりの	の目標指標	指標	の説明(単位)	計画策定時		F度目標値 F度目標値	柱を構成する主		区分
施策の柱	1	認知症サ 講座開催	ポータ養成 回数	認知症サポ· 催回数(回)	一タ一養成講座の開	5		10	1 認知症サポー 業 2	ーター養成事	実施
2	2								3		
									5		
	3								6		
	基	本政策間連	携								
	-	大少压	療・介護連携	小世 進				主管課	保健福祉+	L 12-1-1-1	-

詳 高齢者が疾病を抱えても、自宅などの住み慣れた場所で安心して生活ができるよう、医療と介護の連携を充実させていく。 細

計画策定時

0

65.00

指標の説明(単位)

各保健福祉サービスセンターの チームの活動回数

介護相談員訪問事業所数÷市 内対象事業所数(%)

まちづくりの目標指標

1 認知症初期集中支援 チームの活動回数

2 介護相談員の訪問事 業所率

基本政策間連携

施策の柱

| <u>2022年度目標値</u> | 2027年度目標値 | 柱を構成する主要事務事業

3

5 6

12

100.00

1 在宅医療・介護連携推進事業

2 介護相談員派遣事業

区分

実施

実施

施策等名称 利用者本位の福祉サービスの取組と支援 体系番号 0101010204 主管課 保健福祉サービスセンター

※施策の柱が4つ以上ある場合は下記へ記載 地域ケア会議の推進 保健福祉サービスセンター 主管課 保健福祉サービスセンターが行っている高齢者の個別ケア会議の地域版として、専門職や地域の関係者にも参加をしていただける「地域ケア会議」を設置し、地域の課題解決につなげていく。 2022年度目標値 まちづくりの目標指標 指標の説明(単位) 計画策定時 柱を構成する主要事務事業 区分 2027年度目標値 1 地域ケア会議推進事業 実施 150 地域ケア会議年間参 加者数 地域ケア会議への年間参加者延 203 の 人数(人) 2 柱 3 2 4 5 3 6 基本政策間連携 生活支援サービスの充実・強化 主管課 保健福祉サービスセンター 高齢者の増加に伴い、今後、医療や介護サービス以外にも、日常的な生活支援(配食サービスや見守りなど)を必要とする方も 増加していくことが予想されている。市内10地区に「生活支援コーディネーター」を配置し、各地区の課題に応じた生活支援体制 細 整備を進める。 2022年度目標値 2027年度目標値 柱を構成する主要事務事業 まちづくりの目標指標 指標の説明(単位) 計画策定時 区分 生活支援体制整備事業 実施 10 策 事業推進において市内10地区で 1 協議体設置数 の 設立を要する協議体の設立数 2 柱 5 3 2 4 5 3 6 策の体 基本政策間連携 ふれあい保健福祉事業の再編と充実 保健福祉サービスセンター 主管課 平成12年度から高齢者・介護施策が「措置」から「介護保険制度」へと移行したことに伴い、措置の時期のサービス量との差を生 じさせないことや、在宅生活の推進、さらには介護保険サービスの負担限度額を超える利用に対応するため、独自に「ふれあい 保健福祉事業」を創設し、各種のサービスや事業を実施しする。 2022年度目標値 2027年度目標値 まちづくりの目標指標 柱を構成する主要事務事業 区分 指標の説明(単位) 計画策定時 施設入所者を除く事業対象者数 1 短期入所事業 実施 90.00 事業対象者の在宅介 ·事業対象者(要介護認定者) 不明 の 護継続率 総数(%) ※年度末時点 2 訪問サービス事業 実施 柱 3 通所サービス事業 実施 2 ※ 1・2・3ともに対象者は同じ 5 3 6 基本政策間連携 主管課 称 2022年度目標値 2027年度目標値 柱を構成する主要事務事業 まちづくりの目標指標 指標の説明(単位) 計画策定時 区分 の 2 柱 3 2 4 5 3 6 基本政策間連携

施策等名称	利用者本位の福祉サービスの取組と支援	体系番号	0101010204
爬来守石你	利用有本位の価値り一に入の収配と又接	主管課	保健福祉サービスセンター

	指標寺の ▲系区分)推移と変動要因 	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度					
	キボビカ 指標No.	成果指標名	中間目標値	2010千茂	実績値		(実績値÷目標		2023千段					
	施策	サービス提供事業者・介護支援専門員連絡	6	7	6	6	7	9	6					
	1	会議開催数	12	58.33	50.00	50.00	58.33	75.00	50.00					
	2018年度	を サービス提供事業者・介護支援専門員連絡会議を隔月程度で開催。												
	2019年度	サービス提供事業者・介護支援専門員連絡会	会議を隔月で開催	•										
変動	2020年度	サービス提供事業者・介護支援専門員連絡会	会議を隔月で開催	•										
要因	2021年度	サービス提供事業者・介護支援専門員連絡会	会議を隔月程度で	開催。										
等					即件粉之抽									
			кияс (о уш о д	EMI & AX 0/207	加度数と相。									
		通常の隔月定例開催とした。	24	25	23		_	_	10					
	施策 2	介護サービス相談員訪問施設数	30	104.17	95.83		_	_	60.00					
		介護相談員訪問施設数は、計画策定時とほ			33.03									
		ほぼ増減なし。(前年度とほぼ同じ施設を訪問												
変		新型コロナウイルス感染予防のため訪問中止。												
動要	2020年度													
因等	2021年度	新型コロナウイルス感染予防のため訪問中止。												
	2022年度	新型コロナウイルス感染予防のため訪問中止。												
	2023年度	F度 施設内感染拡大のリスク回避により、通常の社会活動に戻って以降も訪問再開に至らない施設がある。												
	柱1	製知症高齢者家族の金閣従同数	12	12	11	10	11	9	12					
	1	認知症高齢者家族の会開催回数 16 75.00 68.75 62.50 68.75 56												
	2018年度	認知症高齢者家族の会開催回数は、計画策定時と変動なし。												
	2019年度	ほぼ増減なし。(認知症高齢者家族の会を前年度とほぼ同数開催。)												
変動	2020年度	新型コロナウイルス感染予防のため4月と5月を中止した以外、毎月開催。												
要因	2021年度	新型コロナウイルス感染予防のため4月を中止した以外、毎月開催。												
等	2022年度	きかるが集まらず3回開催なし。												
	2023年度													
		月1回の定例開催を行った。	0	0	1	2	1	0	1					
	柱1 2	位置検索装置利用者数	2	0.00	50.00	100.00	50.00	0.00	50.00					
	_	利用者なし。												
変		E 1件の利用希望。												
動要		2件の利用希望。												
因等	2021年度	1件の利用希望。												
	2022年度	利用者なし。												
	2023年度	利用申請による。												
	柱2	認知症サポータ養成講座開催回数	5	7	3	3	2	3	8					
	1		10	70.00	30.00	30.00	20.00	30.00	80.00					
	2018年度	講座開催の要望団体が増加。												
変	2019年度	講座は、市民からの要望により開催するため	、当年度は開催要	要望回数が前年	度を下回ったた									
動要	2020年度	講座は、市民からの要望により開催するため	、当年度は開催要	要望回数が前年	度と同数だった	ため。								
因等	2021年度	講座は、市民からの要望により開催するため	、当年度は開催要	要望回数が前年	度を下回ったた	<u></u> め。								
7	2022年度	講座開催の要望団体が増加。												
	2023年度	積極的な普及啓発活動を実施し、講座開催の要望団体が増加。												
	柱3		0	16	12	16	21	16	21					
	1	──認知症初期集中支援チームの活動回数	12	133.33	100.00	133.33	175.00	133.33	175.00					
			に支援チームを設	置し活動。										
	2018年度	市内4エリアの各保健福祉サービスセンターに支援チームを設置し活動。												
			市内4エリアの各保健福祉サービスセンターに設置された各チームにおいて活動。											
変動	2019年度	市内4エリアの各保健福祉サービスセンター												
動要	2019年度	市内4エリアの各保健福祉サービスセンター 市内4エリアの各保健福祉サービスセンター	に設置された各チ	一ムにおいて流	5動。									
動	2019年度 2020年度 2021年度	市内4エリアの各保健福祉サービスセンター 市内4エリアの各保健福祉サービスセンター 市内4エリアの各保健福祉サービスセンター	に設置された各チに設置された各チ	ームにおいてデ ームにおいてデ	5動。									
動要	2019年度 2020年度 2021年度 2022年度	市内4エリアの各保健福祉サービスセンター 市内4エリアの各保健福祉サービスセンター	に設置された各チに設置された各チに設置された各チ	ームにおいてデ ームにおいてデ ームにおいてデ	5動。 5動。 5動。									

施策等名称	利用者本位の福祉サービスの取組と支援	体系番号	0101010204
肥果守石怀	利用日本位の価値り一に入り収配と又接	所管課	保健福祉サービスセンター

			計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度							
No.		成果指標名	中間目標値	2010年及												
	柱3		64.00	65.00	65.00	-	-	_	54.54							
	2	- <mark>介護サービス相談員の訪問事業所率</mark> 	100.00	65.00	65.00	-	-	_	54.54							
	2018年度	計画策定年度から微増。														
_	2019年度	増減なし。(介護相談員が前年度と同数の事	業を訪問。)													
変動	2020年度	新型コロナウイルス感染予防のため訪問中」	ட்.													
要因	2021年度	新型コロナウイルス感染予防のため訪問中」	ட்.													
₹	2022年度	新型コロナウイルス感染予防のため訪問中」	止。													
	2023年度	地域の介護事業所33施設のうち、18の施設	かか護サービス村	目談員の訪問を	受け入れてい	る。										
\ \ \ \ \		成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度							
No.		八米 11 保 1	中間目標値		実績	[値 / 達成率	(実績値÷目析	値)								
	<u>柱4</u> 1	- 地域ケア会議年間参加者数	150	203	265	25	57	27	3.33							
	2018年度	150 135.33 176.67 16.67 38.00 18.00														
		・会議アーマの内容により参加者が増加。(年に2ヶ月に1回開催。) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・														
変動																
要因		E SCごとに開催し、個別ケースを検討。(2021年度は年4回開催。)														
等																
		を 各保機福祉サービスセンターでの開催に合わせ、市域で開催した。														
			計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度							
No.		成果指標名	中間目標値		実績	[値 / 達成率	(実績値÷目析	傾)								
	柱5	- 協議体設立数	0	7	9	9	9	9	9							
	1		10	23.33	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00							
	2018年度	市内10地区に協議体の設立を推進し、7地区	区で設置完了。													
変	2019年度	市内10地区に協議体の設立を推進し、9地区	区で設置完了。													
動要	2020年度	昨年と同様に9地区で設置完了。														
因 等	2021年度	昨年と同様に9地区で設置完了。														
7	2022年度	昨年と同様に9地区で設置完了。														
							年度 昨年と同様に9地区で設置完了。									
			1					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								
	柱6	昨年と同様に9地区で設置完了。 事業対象者の在宅介護継続率	不明	83.41	82.52	80.49	82.27	82.25								
	柱6 1,2,3	昨年と同様に9地区で設置完了。 事業対象者の在宅介護継続率 (短期入所・訪問サービス・通所サービス)	90.00	834.10	825.20	804.90	822.70	82.25 822.50	82.13 821.30							
	柱6 1,2,3 2018年度	昨年と同様に9地区で設置完了。 事業対象者の在宅介護継続率 (短期入所・訪問サービス・通所サービス) 施設入所者を除く事業利用者数2,318人÷事	90.00	834.10 養認定者)総数2	825.20 2,779人=83.41	804.90	822.70 末時点									
変動	柱6 1,2,3 2018年度 2019年度	昨年と同様に9地区で設置完了。 事業対象者の在宅介護継続率 (短期入所・訪問サービス・適所サービス) 施設入所者を除く事業利用者数2,318人÷事 施設入所者を除く事業利用者数2,313人÷事	90.00 等対象者(要介語 1 等対象者(要介語 1 等対象者(要介語 1 等対象者(要介語 1 等	834.10 [認定者] 総数2 [認定者] 総数2	825.20 2,779人=83.41 2,803人=82.52	804.90 (%) ※年度 !(%) ※年度	822.70 末時点 末時点									
動要	柱6 1,2,3 2018年度 2019年度 2020年度	昨年と同様に9地区で設置完了。 事業対象者の在宅介護継続率 (短期入所・訪問サービス・通所サービス) 施設入所者を除く事業利用者数2,318人÷事 施設入所者を除く事業利用者数2,313人÷事 施設入所者を除く事業利用者数2,286人÷事	90.00 間代要) 間代要) 音像校業 間代要) 音像校業	834.10 養認定者)総数2 養認定者)総数2	825.20 2,779人=83.41 2,803人=82.52 2,840人=80.49	804.90 (%) ※年度 (%) ※年度 (%) ※年度	822.70 末時点 末時点									
助	柱6 1,2,3 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度	昨年と同様に9地区で設置完了。 事業対象者の在宅介護継続率 (短期入所・訪問サービス・通所サービス) 施設入所者を除く事業利用者数2,318人÷事 施設入所者を除く事業利用者数2,313人÷事 施設入所者を除く事業利用者数2,286人÷事 施設入所者を除く事業利用者数2,286人÷事	90.00 图	834.10 建設定者)総数2 建設定者)総数2 建設定者)総数2	825.20 2,779人=83.41 2,803人=82.52 2,840人=80.48 2,865人=82.27	804.90 (%) ※年度 (%) ※年度 (%) ※年度	822.70 末時点 末時点 末時点									
助更对	柱6 1,2,3 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度 2022年度	昨年と同様に9地区で設置完了。 事業対象者の在宅介護継続率 (短期入所・訪問サービス・通所サービス) 施設入所者を除く事業利用者数2,318人÷事 施設入所者を除く事業利用者数2,313人÷事 施設入所者を除く事業利用者数2,286人÷事 施設入所者を除く事業利用者数2,286人÷事	90.00 間代要) 音像按集 間代要) 音像按集 間代要) 音像按集 間代要) 音像按集 間代要) 音像按集	834.10 建認定者)総数2 建認定者)総数2 建認定者)総数2 建認定者)総数2 建認定者)総数2	825.20 2,779人=83.41 2,803人=82.52 2,840人=80.49 2,865人=82.27 2,885人=82.25	804.90 (%) ※年度 (%) ※年度 (%) ※年度 (%) ※年度 (%) ※年度	822.70 末時点 末時点 末時点 末時点									

施策等名称 利用者本位の福祉サービスの取組と支援 体系番号 0101010204 保健福祉サービスセンター

3 評価・改革改善(単位:円)

3	評価・改	革改革											(単位:	:円 <i>)</i>
	項	目	2018年(前年	F度比)	2019年 (前年	度比)	2020年(前年	度比)	2021年(前年	度比)	2022年(前年	年度比)	2018年~2023年	年(総括
	投資額	事業費(円)	34,185,793		33,773,037	0.99	31,580,300	0.94	31,420,319	0.99	33,168,056	1.06	32,422,458	0.98
		うち一財(円)	3,054,925		3,976,954	1.30	3,279,289	0.82	3,383,091	1.03	5,078,845	1.50	3,687,741	0.73
	(2018年 ~2023 年(総 括)にて 2023年 を記載)	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以 上の場合 (に配載)					ふれあい保健福祉 訪問・通所サービン 比3~4割減となっ コロナウイルス感多 影響で事業所必 たこともあるが、値 因はこの年のニー したことによる。	スが前年 た。新型 を拡大の 少休業し 接的な要			ふれあい保健社 の利用者数の±		ふれあい保健社 の利用者数の資	
	進捗	評価	おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調	
評価	総	主な取組内容や成果	は、生活支援コーディネーター(地区社協職員)が中心的な役割を担い、地区コミュニティセンターとも連携し、事業権道の要件である協議体の設置について、全地区で検討が行われた。		ターとの連携による認知 症初期集中チームによ る活動をはじめ、社会福 社協議会とも連携した各 程事業を実施。 介護保険サービスを補う		談、認知症サポーター養成、認知症初期集中 チームの活動、ふれあい保健福祉事業については、昨年並みに実施した。また、位置検索装置の利用が2件みられた。		生活支援体制整備事業について、行政側の連携強化についてで検討を行った。 地域ケア会議について、制度の趣旨に立ち返り、研修の意味も込めて4 SCにおいて1件ずつ個別ケースの検討を行った。				できる体制つくりを進め	
	合評価	課題	介護施設の入門 が増加しており、 らに高齢者が増 状況下で、入所 設が不足してい	、今後さ えていく できる施	生活支援体制整において、地域、集まる場も推進すが、地域に基があり、事業・状況に差が開きいる。	住民が している ても温度 の進捗	新型コロナウイ/加大の影響で介員の施設訪問をし、地域ケア会議を制限した。	護相談 中止と	生活支援体制整を実効性のあるするため、まずにの連携強化が必 地域ケア会議の 催が必要。	ものに よ行政側 シ要。	市社協に委託す	する業は する業はでは するでなる でなる でなる でのい でのい 援賞能	続ける)ための(りが急務。	以降を 認知症 (暮らし
		革・ 中内容	設入所に頼らず	中で、施 、在宅で 組みづく		て重点 21茅野 ループと せ、地域	ワクチン接種の見つつ、感染症 見つつ、感染症 策を取りながら、 実施方法をその 討し、実施できる 素していく。	予防対 事業の 都度検	生活支援体制整の行政側の連携図る研修を行う。 4SCによる地域 議の継続開催を	強化を ・ ケア会	(R4・総括評価市社協の生活:ディネーターが動することに加に会して、企画できる場を設けする。	を援コー 個々で活 え、一同 立案等が	広報の拡充。	援により、 ため、 を備事業 る、地
改革・よ		点化する 5策の柱	6		5		5		5		5		4	
改善		重点	1.2.3		1		1		1		1		1	
吉	策の柱等の	里由	続実施しするこの 齢者の家族・介	、介護保 う「ふれ 業」を継 とで、高 護者の 施設入所	高齢者が介護か なっても自宅やが 生活が維持でき には、地域の見 重要となる。生活 制整備の推地区 の整理を進め、 応策の検討を観 進めていく必要が 進めていく必要が	地域たりである。 でめが援い題対で を続して	高齢者が介護が なっても自宅やは 生活が維持でき には、地域の見 重要となる。生活 制整備の推進協 地域支援コーやで ターが活動しやで う、行政の関リナ	地域ためでの 守支が 大きないの である である である である である である である である である である	生活支援体制整の各地区での進見直し、地域包括ステムの構築にる取組を行うため	め方を 舌ケアシ 近づけ	の構築に向けて	C、地域 源・サー れらの	団塊の世代が8 えるまでの今後 は高齢者人口に し、更に配増加し 介護の力用の が関本の が表するため るため。	10年間 は増加を抱えた ていき、 一ビル域 域包括
	作成担	当者	牛山 治	<u> </u>	牛山 湘	•	平林 健!	見	平林 健	児	平林 健	児	立石 武	彦
最	作成担 終評価 終評価	責任者	牛山 治 両角 直		牛山 治 両角 直		平林 健! 依田 利:		平林 健 依田 利		平林 健平澤 精		立石 武井出 引	